

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	成人祝賀式開催事業						担当部	こども未来部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	こども政策課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係							
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		13 子育て支援		4 健全な青少年を地域で育てます									
		副目的	16-2													
	予算区分	款	10		項	5		目	4		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	新成人を対象に成人式式典を開催し、社会の一員としての新成人の自覚の向上を図る。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校から推薦された新成人が運営委員となる運営委員会を開催し、新成人による成人祝賀式を企画運営した。 ・運営委員会では、過去の内容を再検討し、自分達でイベントの実施、記念品の有無、交流会のあり方などを決定した。 ・第1回目に昨年の運営委員6人にも参加してもらい、企画する上の助言をもらった。 ・第1、2回の運営委員会では、アイスブレイクゲームを取り入れ、緊張をほぐし、意見の出やすい環境づくりを行った。 ・職員は、運営委員会及び、成人祝賀式がスムーズに企画運営できるよう、助言・支援をした。 ・運営委員会開催回数：10回(委員会9回、リハーサル1回) ・成人祝賀式終了後、運営委員に運営委員会や式典について、アンケート調査を行った。また、反省会として、運営委員に参加してもらい、次年度の資料とした。 ・応援職員に、式典の運営について意見をもらい、次年度の資料とした。 ・平成26年1月12日(日)13:30～15:30 パークアリーナ小牧において式典開催。 第1部式典、第2部イベント(ビデオレター)、第3部交流会を実施。 <p>◆25年度直接経費の内訳 成人式運営委託料(4,216千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 成人式運営委託料(4,516千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,334	4,224	4,216	4,516	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,578	1,578	1,578	1,578
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	5,912	5,802	5,794	6,094
	対前年比		%		98.1	99.8	105.1	
財源	一般財源	千円	5,912	5,802	5,794	6,094		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	委員会委員人数	人	目標	20	20	20
実績				18	19	18	
	委員会委員参加率	%	目標	80	80	80	80
			実績	77.0	85.2	78.0	
	成果指標名	単位	目標				
			実績				
	成人式参加率	%	目標	75	75	75	75
			実績	72.0	81.0	74.0	
	成人式参加者数	人	目標	1,152	1,177	1,210	1,269
			実績	1,100	1,300	1,200	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	対象者数1,624人、参加者数約1,200人、出席率は74%であり、目標達成にはいたらなかった。中学生には成人式への興味を持つ機会を提供し、新成人には中学生の自分を振り返り、大人となった自覚を促すことを目的として、中学生ボランティアスタッフを募集し、13人が活動した。				
		事業実施における課題	教育委員会から、子ども未来部へ所管課が変更となって、応援職員の体制が大きく変わることになる。スムーズな式典運営を行うための部内及び関係各課との調整が、従来以上に必要となる。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	広く市民に周知され、認知されている事業のため、事業の廃止は市民の理解が得られない。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	市政50周年記念事業として、タイムカプセルが作られた。本年の新成人が10年後の自分に向けた手紙を入れており、タイムカプセルを開け、手紙を郵送するなど、一連の作業と、式典当日のセレモニーについて、運営委員会、ロータリークラブ、秘書広報課と連携して事業を展開する。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	本市の式典は、新成人による運営委員会方式であり、毎年運営委員の協力のもと、厳粛な雰囲気の中、実施されている。反省会での意見も達成感を感じられたなど、前向きな意見が多く出されている。前年度の委員として、第1回目に参加する場合も、後輩達と一緒に委員会を盛り上げてくれるなど、良い循環ができつつある。					
	27年度以降の改善案	式典会場開始直前に会場へ入場する新成人が多く、入場口が非常に混雑し式典開始時間が遅れる状況であったため、入場口を2箇所にし混雑緩和を図り、スムーズな式典運営を図る。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。